

みずほCustomer Desk Report 2017/09/14 号 (As of 2017/09/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.15 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.23	1.1971	131.93	0.9605	1.3290	0.8017
SYD-NY High	110.69	1.1995	132.02	0.9660	1.3329	0.8044
SYD-NY Low	109.91	1.1873	131.26	0.9585	1.3185	0.7971
NY 5:00 PM	110.48	1.1886	131.33	0.9642	1.3208	0.7987
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.185/9.585		Δ25RR	0.900	Yen Call Over	

NY DOW	22,158.18	39.32	債券市場	日本2年債	-0.1340	▲0.5bp
NASDAQ	6,460.19	5.91		日本10年債	0.0340	1.4bp
S&P	2,498.37	1.89		米国2年債	1.3471	1.2bp
日経平均	19,865.82	89.20		米国5年債	1.7670	2.2bp
TOPIX	1,637.33	9.88		米国10年債	2.1883	2.1bp
シカゴ日経先物	19,790.00	25.00	為替市況	独10年債	0.4010	-
ロンドンFT	7,379.70	▲20.99		英10年債	1.1450	1.0bp
DAX	12,553.57	28.80		豪10年債	2.6700	3.0bp
ハンセン指数	27,894.08	▲78.16		USD/CNH	6.5477	0.0117
上海総合	3,384.15	4.66		ドルインデックス	92.52	0.64
USDJPY 3M Vol	9.27	0.14%	商品市況	CRB指数	182.883	1.47
USDJPY 6M Vol	9.44	0.06%		NY金	1,328.00	▲4.70
EURJPY 3M Vol	9.13	0.04%		WTI	49.30	1.07
EURJPY 6M Vol	9.65	0.03%		Dubai Spot	53.05	0.93

東京	朝方のドル円は前日海外時間のリスク回避巻き戻しの流れを引き継ぎ一時110.29まで上昇した後、110.23レベルで東京時間オープン。日経平均株価は前日比プラスで寄り付き堅調推移となったものの、ドル円は2週間ぶりに110円台に乗せたこともあり相応の売り意欲が見られ上値の重い推移となり一時109.98まで下落。すぐに110円台を回復したものの、戻りは鈍くその後は110円台前半での狭いレンジ内の推移が続いた。結局、110.06レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円ちょうどを挟んでもみ合い。110.06レベルでオープン。欧州株の寄り付きはやや弱かったものの、その後は前日比プラス圏に上昇。ドル円は一旦109.91まで下落したものの、その後は明確な方向感出づらく、おおむね110円ちょうどを挟んでレンジ推移。110.08レベルでNYへ渡った。ポンドドルは英7月雇用統計で予想より弱い賃金の伸びを背景に下落。朝方は1.3305レベルでオープン。英7月雇用統計において平均週間賃金が前年比+2.1%と、市場コンセンサス(同+2.3%)より弱い結果となった事を受けて、実質賃金の低下が再確認され、国内消費の減速が懸念される中でポンドは全般的に下落。ロンドン時間中盤までにポンドドルは1.32台半ばまで下落し、1.3278レベルでNYへ渡った。(ロンドン-トルフィ-00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.08レベルでオープン。朝方発表された米8月PPI(前月比)は予想を下回ったが、110円台を明確に割り込むことは無く、その後反発。その後、ブレイディ米下院歳入委員長「税制改革案を9月25日の週に発表する」との発言を受けて、米金利上昇と共にドル買いが強まり、ドル円は海外時間高値の110.29を上げ上げ。その後も米株が底堅い推移を維持したことや、国際エネルギー機関(IEA)の月報で、欧州の活発な消費などを背景に2017年の原油の需要見通しを上方修正したことを受けて、WTI原油が上昇したことからドル円はこの日の高値となる110.69まで上昇。2016年米選挙のロア関連疑惑をめぐり「モラ-特別捜査官、ソーシャルメディアに捜査の重点を置く」とのヘッドラインが伝わり、米政権への不信感が強まり、ドル円は110.38まで急落。しかし特設新規材料が出たわけでもなく、米金利の上昇を背景にドル円は110.67まで値を戻し、110.48レベルでクローズした。尚、ダウ工業株、S&P500種は続伸し過去最高値を更新した。一方ユーロドルは1.1980レベルでNYオープン。米税制改革期待の高まりや、米金利上昇と共にドル買いが強まり、ユーロドルは前日安値の1.1927を下抜けると一段と下落が加速し、1.1873まで下落。その後も1.18台後半での上値の重い推移が続き、1.1882レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 岡本・森谷

【昨日の指標値】

Date	Time	Event	結果	予想
9月13日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	8月 0.0%/2.9%	0.1%/3.0%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.1%/1.8%	0.1%/1.8%
	15:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.2%/1.8%	0.2%/1.8%
	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	7月 4.3%	4.4%
	17:30	英 週平均賃金3ヶ月(前年比)	7月 2.1%/2.1%	2.3%/2.2%
	18:00	米 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.1%/3.2%	0.1%/3.3%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-
	21:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.4%	0.3%/2.5%

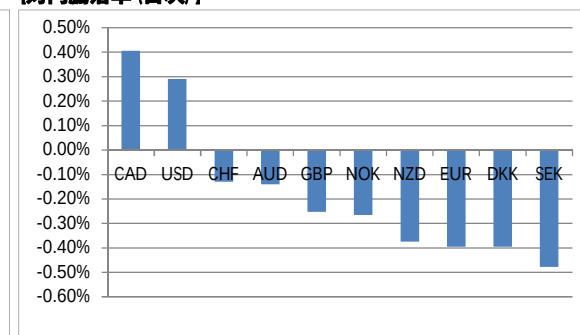
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月14日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	8月 20.0K/5.6%	27.9K/5.6%
	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	8月 10.4%/8.2%/6.8%	10.4%/8.3%/6.8%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	7月 -/-	-0.8%/4.7%
	20:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.250%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	300K
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/1.8%	0.1%/1.7%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/1.6%	0.1%/1.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.80-111.00	1.1800-1.1930	130.90-132.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、ブレイディ下院歳入委員長が「米税制改革案の骨子を9月25日の週に発表する」と発言したことを受けたドル買いが継続。ドル円は8月31日高値の110.67を上げて一時110.69まで上昇するも、達成感からその動きは長続きせず徐々に上値の重い展開となった。改めて今の市場の注目は米税制改革に集まっていることが示唆された格好。本日は米CPIが発表予定であるが、これはもう1つの注目であるFRBのB/S縮小オペレーション開始や利上げなどの金融政策変更に関する重要な経済指標であり、アジア時間のドル円は本指標の発表を前に上値重く推移するだろう。